

No.75 シリーズ 防災安全

震度



今回のシリーズ防災は、12月号でも紹介した震度について具体的な体感度合いを説明します。震度が大きな地震ほど、当然揺れも大きくなり、建物の倒壊や、道路の崩壊など、大災害に繋がる危険が高まります。また、幸いにも八百津町は地震に関する津波災害の心配はないとされていますが、もしあなただけが海岸沿いなどにいるときに大きな地震が起きたら、すぐに高台へ避難する行動をとらなければいけません。今のところ地震の予知は困難だとされています。いつ起きるかかわからない地震のために、日ごろから家具の固定など、事前の対策をすることによって被害をできるだけ軽くするよう努めましょう。

震度 7	震度 6 強	震度 6 弱	震度 5 強	震度 5 弱	震度 4	震度 3	震度 2	震度 1	震度 0
耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れる物が多くなる。	耐震性の低い木造建物は、倒れるものが非常に多くなる。耐震性の高い木造建物でも、傾くことがある。	地面を這うことをしないと身動きがとれない。大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山自体の崩壊が発生することがある。	立つことさえ困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり建物が傾くこともある。	ものにつかまらなさと歩行が困難。固定していない家具が倒れる危険性がある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。	大半の人が揺れに恐怖感を感じ、物につかまろうとする。棚にある食器や本が落下することがある。固定していない家具が移動し、不安定な物は倒れることがある。	ほとんどの人が揺れに驚く。電灯などのつり下げてあるものは、大きく揺れる。	屋内のほとんどの人が揺れを感じる。揺れを感じる。	屋内で静かに感じている人の大半が揺れを感じる。	人は揺れを感じない。

No.77 シリーズ 包括支援

こんにちは！  
地域包括支援センターです！

「高齢者  
あんしん相談会」

「何でもご相談ください」

地域包括支援センターでは、高齢者あんしん相談会を開催しています。高齢者あんしん相談会では、認知症や生活の悩み、介護保険など幅広い分野の相談を受け付けており、地域包括支援センターの職員がご自宅への訪問を行っています。認知症かもしれないが、どこに相談したらよいかかわからない、身体が思うように動かず日常生活で支障が出てきた、困りごとや心配なことがあるがどこに相談したらよいかかわからない、介護保険のサービスを利用したいなど、悩んでいることはありませんか。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんやそのご家族のための総合相談窓口です。今後も、地域のみなさんが安心していきいきとした生活を送ることができるよう活動していきたいと思えます。お気軽に、何でもご相談ください。



	とき	ところ	内容
高齢者 あんしん 相談会 ※要予約 (無料)	4月25日(水) 午後1時30分 から3時30分	潮南区	日常生活上の問題や介護保険のことなど、何でもご相談ください。ご自宅へ地域包括支援センターの職員が訪問します。
お元気 サロン ※要予約 (無料)	4月26日(木) 午前9時30分 から11時30分	福祉センター	いきいき元気にすごすため、講話や実技、軽体操など楽しい企画が盛りだくさんです。